

平成25年度にじと風福祉会事業報告
(H25.4.1~H26.3.31)

(案)

1.役員会等	2.事業	3.助成事業
<p>6.9 通常総会</p> <p>4.14 理事会 原則毎月第一月曜日</p> <p>6.9 " "</p> <p>11.4 " "</p> <p>3.2 " "</p>	<p>(自立支援法による障害福祉サービス事業)</p> <p>放課後等デイサービス事業</p> <p>居宅介護事業(知・身・児)</p> <p>行動援護、同行援護、重度訪問介護事業</p> <p>指定特定相談支援事業(児童、知的、身体)</p> <p>(自立支援法による地域生活支援事業)</p> <p>日中一時支援事業(知・身・児)</p> <p>移動支援事業(知・身・児)</p> <p>事業範囲 (八千代市、船橋市、白井市、6市 習志野市、千葉市、佐倉市)</p> <p>(委託事業)</p> <p>千葉県障害児地域療育等支援事業</p> <p>船橋市障害児地域療育等支援事業(新規)</p> <p>(自主事業)</p> <p>放課後活動事業</p> <p>土曜休日活動事業</p> <p>長期休暇中の活動事業</p> <p>レスパイトサービス事業</p> <p>給食、送迎サービス事業</p> <p>(研修事業)</p> <p>大学研修受入</p> <p>大学インターンシップ受入</p> <p>市内小中学校研修受入</p> <p>(総合学習、ボランティア体験学習)</p> <p>県市教職員初任研修受入</p>	<p>動作法研修会(後援)</p> <p>原則月1回</p> <p>場所:あべこどもクリニック3F</p> <p>講師:順大飯島先生</p> <p>世話人:石渡</p> <p>電動車椅子サッカーチーム「クローバーズ」の活動後援</p> <p>6.15第5回電動車椅子サッカー千葉県協会大会</p> <p>9.1第17回関東電動車椅子サッカー大会不参加</p>
<p>4.行事 (レクリエーション、イベント)</p> <p>4月 イチゴ狩り 42名</p> <p>ビッググリーンアドベンチャー 28名</p> <p>スプリングコンサート</p> <p>5月 日帰り旅行 56名</p> <p>5月 県身体障害者スポーツ大会</p> <p>6月 KIDS TDL 参加 37名</p> <p>6月 県民の日お出かけ 46名</p> <p>7月 ジャガイモ掘り 36名</p> <p>7月 海の日お出かけ 30名</p> <p>7月 っておきの福祉まつり</p> <p>8月 葛西水族館 38名</p> <p>8月 -23 親子研修一泊旅行(伊) 46人</p> <p>8月 夏祭り 74人</p> <p>9月 キッズダム 22人</p> <p>10月 -3 KIDS 手賀沼キャンプ</p> <p>10月 サツマイモ掘 34名</p> <p>10月</p> <p>11.3 さくらいろの風1周年</p> <p>12月 ニューリバーロードレース 3名</p> <p>12月 クリスマス会 43名</p> <p>1月 新春餅つき大会 57名</p> <p>1月 初詣風あげ 24名</p> <p>2月 節分、豆まき</p> <p>2月 バレンタインコンサート 35名</p> <p>2月 チャレンジミュージカル参りなし</p> <p>2月 スキー旅行 5回目 他施設合同</p> <p>3月 ひなまつり</p> <p>3月 ホワイトデイコンサート 36名</p> <p>3月 ボーリング大会 41名</p>	<p>7.対外活動</p> <p>5月 県重心守る会総会</p> <p>5月 東京放課後連学集会</p> <p>5月 千葉県指定相談事業所連絡会総会</p> <p>5月 県肢体不自由児者父母の会総会</p> <p>6月 八千代市サッカー協会総会出席</p> <p>7月 千葉地域生活フォーラム出席</p> <p>6月 県肢体不自由児者父母の会関プロ参加 2名</p> <p>7月 千葉県重心協総会</p> <p>8月 全障研全国大会参加</p> <p>9月 電動車椅子サッカー関東大会第17回</p> <p>9月 三者交流会</p> <p>10月 -24きょうざれん全国大会</p> <p>11月 県肢指導者研修会</p> <p>11月 放課後連厚労省交渉</p> <p>12月 中核支援センター「なかまネット」障害者部会</p> <p>12月 障害者虐待防止法研修会</p> <p>八千代リハ学院卒業式</p> <p>県船養護入学式</p> <p>10. 市児童発達支援センター運動会</p> <p>10. 八千代養護あすなろ祭</p> <p>10. 市身体障害者スポーツ大会</p> <p>11 県船養護船養祭</p> <p>11. 市民活動サポートセンターまつり</p> <p>11 とっておきの福祉祭り</p> <p>12 救急救命法研修</p> <p>1. 肢体不自由児者役員会</p> <p>2. 市児童発達支援センター発表会</p> <p>3. 八千代特別支援学校他卒業式出席</p> <p>3. 電動車椅子関東総会</p>	<p>8.広報</p> <p>5/20 にじと風だより 82号 1200部発行</p> <p>10/10 にじと風だより 83号 1200部発行</p> <p>1/20 にじと風だより 84号 1200部発行</p>
<p>5.研修</p> <p>毎月1回 職員研修 第4月曜日</p> <p>4月 新入職員研修2名</p> <p>通年 職員研修</p> <p>通年 職員研修</p> <p>6月 市内中学福祉体験生受け入れ</p> <p>7月 相談支援従事者初任研修 2名</p> <p>8月 自閉症セミナー</p> <p>8月 全障研青森</p> <p>8月 施設見学 37名</p> <p>8月 サービス管理責任者研修(現任)</p> <p>10月 発達障害者相談員研修</p> <p>11月 放課後連研修</p> <p>12月 重度訪問資格研修</p> <p>12月 同行援護資格研修</p> <p>12月 相談支援現任スキルアップ</p> <p>1月 行動援護従事者研修</p> <p>2月 アニメーターフォーラム</p> <p>2月 全国放課後連研修会</p>	<p>7.対外活動 (各種定例委員会出席等)</p> <p>○八千代市自立支援協議会 子ども分科会長</p> <p>○八千代市福祉ネットワーク</p> <p>○八千代市市民活動サポートセンター運営委員会</p> <p>○友愛みどり園評議会</p> <p>○県肢体不自由児者父母の会役員会</p> <p>○選べる福祉ネットワーク</p> <p>○なかまネット障害者部会</p> <p>○放課後連千葉、全国放課後連事務局長</p> <p>○八千代市特別支援教育連携協議会</p> <p>○千葉県相談支援事業者連絡協議会 副会長、研究部会長</p> <p>○千葉県知的障害者福祉協会 児童部会 新規</p> <p>○船橋市相談支援事業者連絡協議会児童、研修部会 新規</p>	
<p>6.施設関係</p>		

平成25年度事業報告(案)概要

1 放課後等デイサー (国の事業)

放課後休日活動を行う

集団での遊びの中で、学校でも家庭でもない場所の中で子どもたちが

安全にのびのびと過ごせるような活動を行う

お友だち支援者と過ごすことでの思いやり、社会性の育ちを育む。

学校生活を補完するものではない(お勉強はしない、訓練はしない) **平成25年度特記**

家族にも生活の確保(兄弟と過ごす時間の確保)(母親の就労確1日の利用時間が長時間になる人が増えた。5人

	H23年度に比H23年度さく		H24年度に比H24年度さく		H25年度に比H25年度さく		H25年度キッズ
年間開所日数	261日	261日	261日	261日	261日	261日	174日
年間利用人数	2822人	2541人	3302人	3330人	2811人	3220人	1710人
年間利用時間	13980時間	12284時間	16108時間	16529時間	12490時間	14518時間	8261時間

八千代市は小学生のみ

にじと風の放課後活動の2本の柱

① 子ども達の放課後の時間の充実、当たり前にならだしたり遊んだりおやつを食べたり

② 家族への支援特別でない家庭生活が送れるように

よかった点 社会性の育ち

自立する意欲の育ち

次年度への課題

送迎問題 (タクシー利用採算とれた、送迎先の増加)

障害が重い子が多くなり同じ場所にいることの困難さが生じた。
人数が増えた。

利用者の増加により8月に1か所新設したが3月末にはもう一杯

送迎車	5台	プレマシー	保有
		ファンカーゴ	保有
		セレナ	保有
		ハイエース	保有
		オーパ	保有

タクシー送迎回数	1日平均2回	
年間経費	944840	円

2 居宅介護 (国の事業)

重度訪問 1名のみ登録 週4-5回

生活行為の確保 順調

有資格者5名による支援主に介護

居宅介護 2名のみ登録 不定期

生活行為の確保 利用減少

お風呂にいれ身辺を整理する行為のみ

行動援護 八千代 3名

船橋 4名

習志野 1名

同行援護 有資格者6名による支援主に外 順調

新規 船橋 1名

次年度への課題

有資格者6名による支援主に外 2名増加
支援者の技能資質の更なる向上、外部研修に出す
休日稼働可能なヘルパー増加により利用者数増加
利用者(受給決定が中々下りない)

	H23年度	H24年度	H25年度
年間開所日数	365日	365日	365日
年間利用人数	525人	640人	617人
年間利用時間	2094時間	2279時間	2033時間

今年度特色

有資格者は増加した。

1人当たりの時間が長時間になり1日に1人のヘルパーの利用者稼働人数が減少した。

平均8時間

八千代市以外の利用者増加 5名増加

3 日中一時 (各市の事業)

放課後型 八千代市船橋市は型が不明確

預かり型 以前の短期入所日帰り型機能

本来の形態である放課後等デイ受給が下りようになり

幼児と社会人が中心となった

休日の長時間預かりが増えた

H24年度		
年間開所日数	261日	(365日)
年間利用人数	1272人	(八千代市は児童デイ対象者の内幼児、中学生以上対象)
年間利用時間	4817時間	

H25年度		
年間開所日数	365日	(365日)
年間利用人数	1709人	(八千代市は児童デイ対象者の内幼児、中学生以上対象)
年間利用時間	6063時間	

4 移動支援 (各市の事業)

ヘルパーとのお出かけ外出、学校、通所、入所施設への送り迎え

八千代市はお出かけのみしかできない

ヘルパーの増員により利用者増加

よかった点

1対1なので楽しい 職員を一人占めできる 好きなところにいける

改善点

職員ヘルパーが1対1なので非常時の決断が難しい

ヘルパーの更なる研修

緊急時児童短期入所がなくなり利用が土日曜日に急激に増加したので1人に対する時間は減少

放課後等デイサービスによる土休活動が多くなり利用者減少につながった

各市により事業基準がばらばらなので現場に混乱が見られる

	H23年度	H24年度	H25年度
年間開所日数	365日	365日	365日
年間利用人数	1001人	722人	896人
年間利用時間	3378時間	2236時間	2256時間

5 相談		H23年度	H24年度	H25年度
よかった点	(国の事業) 一般相談は八千代市よりの委託なし この事業がないと放課後も土日でも豊かな生活の基礎ができない 本当に助けて欲しいときに相談し動ける	年間開所日数 365日	365日	365日
改善された点	職員2名なので限界あり、時間と場所が重なり対応できず 平成24年度より計画相談のみ介護給付費算定されるようになった。 平成25年度より計画相談は除く計画作成は約120件内請求済み1/2 関係機関よりの紹介による困難ケースが多い(八千代市、学校、市川)経費と仕事量全く見合わない 相談者数が増加し1日平均が12名になった。職員2名体制	年間利用人数 2229人	10938人	4392人
H25年度	4月より県事業委託8月より船橋市委託できたので改善された(経費面)地域療育等支援事業 約300万の収入があった経費の1/2計上できた(人件費は除く)	1日平均 6人	30人	12人
問題点	収入から職員配置は増やせない職員の1名は無給他事業管理者給与のみ 2名では、現場も事務も不可能1日の勤務時間が12時間を超える 今まで踏み込まれず在宅のままであった障害者が外に出られるようになり虐待が行われていても対処できていなかった障害者の生活が改善され楽しく毎日が過ごせるようになったのを見ると職務の意義を感じる。 利用者にとってはサービス利用開始までに自分で探さなくてもよいという利点はあるが、時間がかかりまた煩瑣になったという点はマイナ 利用事業所内での処遇を常に外部としてみるので事業所虐待や処遇の改善につながることを期待できる。 急激に増加した相談員の質を担保することが課題 相談支援事業所としては事業内容を外部評価してもらいまたスーパービジョンの相談ができる機関が市内にはなく他市の機関健の機関 頼ることが多く職務遂行上独善に陥らないよう不安を抱えている。			
地域療育等	実施もするが事業所として支援も得ている。香取市コスモスの花より専門職の派遣を得て職員指導研修を1ヶ月1回実施			

6 全体	
さくらの風の事業経過: おおむね順調 にじと風キッズおおむね順調 児童発達支援事業は今年度も申請し初期療育は民間ではなく公が費用負担を利用者に負担させることなく高度な専門性を持つ 職員集団で行うべきである 同様の理由で保育所等訪問も実施した有資格者は2名 連携事業: 2種(ぼっぼ、早稲田アシスト、個人契約) 対象者6名 増加した 使用時間に応じて実費水光熱費支払を受ける 職員体制: 規定の2.7倍配置 常勤 16名 吉野、金澤、有本、坂詰、原、荒木、大野、服部、三野宮、 密本、押木、花谷、石川、小野昭、小野颯、西原、 非常勤 18名 内 5日勤務 2 奥田、押木克 4日勤務 3 丸井、佐藤、寺田(3月竹口退職) 2日勤務他 13 早瀬、藤代、船木、宮沢、川名(看護師)、 高橋、桐田、成瀬、松丸、菅原、小山、川崎、高橋育 内新卒1名 中途採用12名	
事業	会報を年3回発行できた。 常勤雇用増加総数変化なし 10周年記念誌作成できまた今年も 福祉塾を再開できた

次年度への懸案事項	
緊急時の子供用シェルターとして利用する事あり(さくらの風、にじと風キッズ) 短期入所は受託しない。 リスク管理救急救命法から始める 福祉避難所 民間広域機関に登録完了 車両事故減少 H25年度 1回 前年度よりさらに改善された その分スノータイヤ購入できた(全車両)	
生活介護事業所8月開所予定 放課後等デイサービス事業所8月開所予定 病児お預かり場所が2か所になり消毒、車両の使用制限等がなくなり利用者従業者に対する負担が 軽減された。 夕食供与人数が増加した21時まで 早朝登校支援も増加した7時から 両事業とも制度外なので施設負担が増している。 職員の毎日40食のおやつ作りの腕が上がった(「おいしかったよ」と言ってもらいたいため) 職員会議の開催が不定期になった。相談にかかることが多く全員そろわない	